


めぐる、手漉紙。

MEGURU TESUKIGAMI



The image shows several stacks of handmade paper. In the background, there are three stacks: one light beige, one dark blue, and one medium blue. In the foreground, there are two smaller stacks: one light beige and one brownish-tan. The paper has a visible fibrous texture and slightly irregular edges.

この紙には
語りたくなる
ものがたりがある。

「めぐる、手漉紙。」は、
捨てられるはずだった廃材に
再び命が吹き込まれて生まれた紙です。
廃材にこめられた想いや物語とともに漉き込まれますので、
素材それぞれに物語があり個性があります。

そして、「めぐる、手漉紙。」は、
障がいのある方の手漉きで生まれます。
一枚一枚、丁寧に丁寧に、ゆっくりと漉き込み、
紙へと生まれ変わります。
出来上がりの不規則も個性として大切にするのが
「めぐる、手漉紙。」です。



こうして生まれた「めぐる、手漉紙。」は
小さな循環からはじまり
人から人へ、手から手へと
ぐるぐるぐるぐる、めぐりめぐって、
社会に新たな循環を生み出します。

紙を使ってくれる方が喜び
手漉きをしてくださる障がいのある方が喜び
廃材をアップサイクルしてくださる企業が喜び
子どもたちが暮らす地球が喜ぶ

そんな未来につながる、喜びの循環

「めぐる、手漉紙。」

ぜひご利用ください。

vision MAP





「めぐる、手漉紙。」で出来ること

紙をつかう

名刺でつかう
ブランディングでつかう
自由につかう

9ページへ

紙をつくる

廃材を、
紙に変える。

21ページへ

紙をつかう

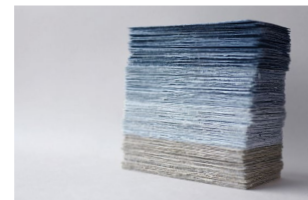
紙のラインナップ

インディゴ デニム ペーパー

[Indigo Denim Paper]

古くから備後緋(かすり)の産地として栄えた広島県備後地方。インディゴデニムペーパーは、この地域にある世界有数のデニム生地メーカーの工場から毎日生まれるデニムの廃棄品を使って、福祉作業所で働く障がいのある方の手漉きで生まれました。藍の風合いのある温かい紙です。

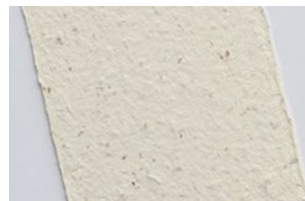
インディゴ / ミドルインディゴ / ライトインディゴ / ページュインディゴ



家具の木くずペーパー

[furniture wood chips Paper]

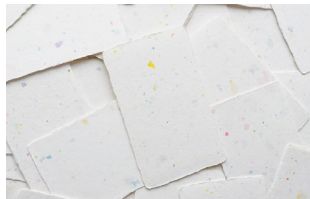
国内有数の高級家具産地である府中家具。江戸時代からの伝統である「府中家具」の技術を継承し木の温もりを大切にした上質な家具を作り続ける木工メーカーの工場から生まれる木くずの廃材を使って、福祉作業所で一枚ずつ心を込めて手漉きして生まれました。木の温もりを感じる紙です。



おりづるペーパー

[Orizuru Paper]

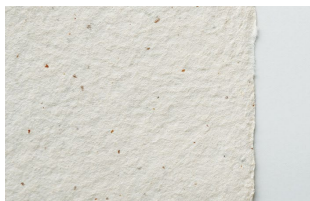
広島市平和記念公園には平和への願いと祈りを込めた折り鶴が、年間約1,000万羽（重さにして約10トン）も寄せられます。おりづるペーパーは、この折り鶴に込められた平和への願いや祈りを、福祉作業所で一枚ずつ紙へと漉き込み生まれました。散りばめられた折り紙のカケラがつくる優しい彩りが印象的な紙です。



しょうゆペーパー

[Soy Sauce Paper]

埼玉県川越市に江戸時代から約250年続く醤油の蔵元があります。しょうゆペーパーはこの蔵元から醤油づくりの工程で出る醤油粕を素材として、福祉作業所で一枚ずつ紙へと漉き込み生まれました。天然素材のもつ素材な印象がなんと温かい紙です。



みそペーパー

[Miso Paper]

大豆の皮の色合いや質感が活かした素朴な風合いの紙。広島県府中市が全国に誇る特産品・府中味噌の醸造元「本家中村屋」と共に生まれました。日本家屋に用いられる土壁のような雰囲気があり、手に取る人に温かみを感じさせてくれます。



NOZOMI PAPER®

宮城県南三陸ののぞみ福祉作業所で手漉きで作られる再生紙です。全国から届く牛乳パックや新聞紙を使って一枚一枚丁寧に福祉作業所で手漉きされ出来上がります。

MILK / NEWS / COFFEE



「めぐる、手漉紙。」をつかって、名刺をつくることができます。

この名刺には
語りたくなる、ものがたりがある。

手触り、色合い、デザイン。
そして、作り手、廃材。

1枚の名刺に込められる 物語の量が増えました。

地域の企業から 日々生まれる
製品の陰に隠れた 廃材たちと共に

「その廃材に縁がある」
「この土地が好き」
「ものづくり産地が好き」

そんな一人ひとりの個性を 1枚ずつ紙へと漉き込みます。

廃材は、物語の種。
「めぐる、手漉紙。」でつくる名刺

今日もどこかで
新しい会話が生まれています。



価格表 (表示価格は税抜)

活版印刷代	片面1c(黒)	片面1c(特色)	両面1c(黒)	両面1c(特色)
100枚	¥9,500	¥10,600	¥15,000	¥16,200
200枚	¥12,300	¥13,400	¥20,600	¥21,700
300枚	¥15,600	¥16,700	¥26,700	¥27,800
紙代				
活版印刷用 耳あり (55×91)			100枚	¥6,000

オンデマンド印刷代	片面1c(黒)	片面4c(カラー)	両面1c(黒)	両面4c(カラー)
100枚	¥2,000	¥3,000	¥2,500	¥3,500
200枚	¥3,000	¥4,000	¥3,500	¥4,500
300枚	¥4,000	¥5,000	¥4,500	¥5,500
400枚	¥5,000	¥6,000	¥5,500	¥6,500
500枚	¥6,000	¥7,000	¥6,500	¥7,500

紙代				
活版印刷用 耳なし (55×91)			100枚	¥3,500

デザイン代				
片面デザイン		¥15,000～	別途お見積り	
両面デザイン		¥25,000～	別途お見積り	

名刺の導入事例





「めぐる、手漉紙。」は、SDGsやサステイナブルなブランディングにつかうことができます。

具体的な活用イメージ



会話が弾む
印象的な名刺として



商品コンセプトや企業姿勢が
さりげなく伝わるタグとして



レポート促進につながる
温かいポストカードとして



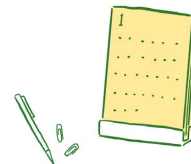
企業姿勢や理念の伝わる
会社紹介/商品紹介の
パンフレットとして



こだわり詰まった
雰囲気あるコースターとして



企業姿勢がさりげなく伝わる
封筒として

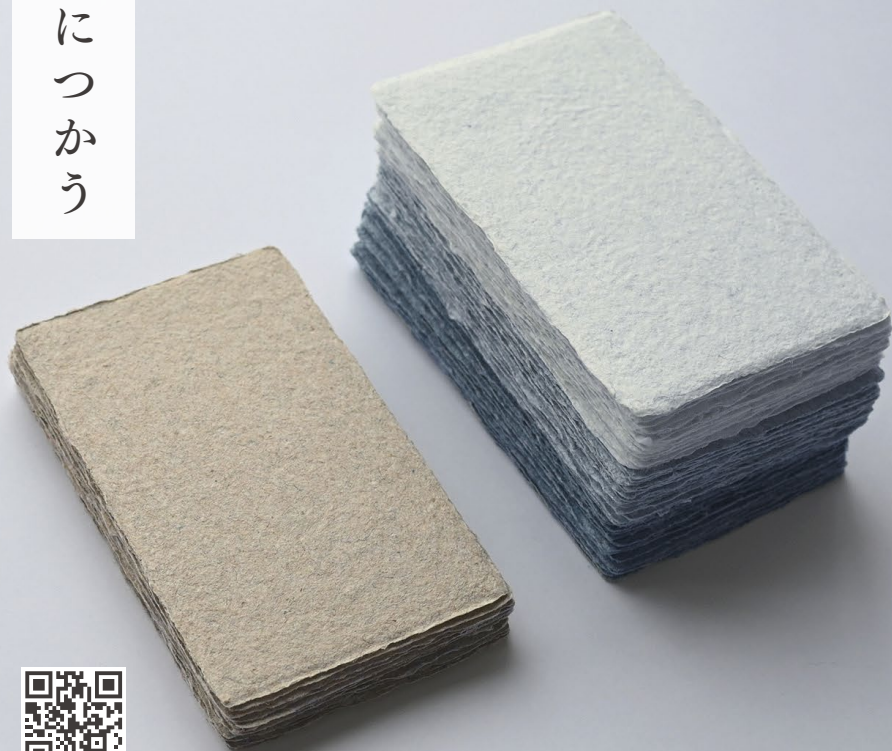


お客さまに喜ばれる
ノベルティとして



製品のこだわりを伝える
ラベルとして

自由につかう



BASE

「めぐる、手漉紙。」は、無地の紙を購入することができます。



インディゴ デニム ペーパー
〈インディゴ〉
10枚セット - ¥660 (込)
100枚セット - ¥6,600 (込)



インディゴ デニム ペーパー
〈ミドルインディゴ〉
10枚セット - ¥660 (込)
100枚セット - ¥6,600 (込)



インディゴ デニム ペーパー
〈ライトインディゴ〉
10枚セット - ¥660 (込)
100枚セット - ¥6,600 (込)



インディゴ デニム ペーパー
〈ページュインディゴ〉
10枚セット - ¥660 (込)
100枚セット - ¥6,600 (込)



家具の木くずペーパー
10枚セット - ¥660 (込)
100枚セット - ¥6,600 (込)



インディゴ デニム ペーパー お試しセット
〈インディゴ/ミドル/ライト/ページュ〉
全11種 - ¥750 (込)

自由につかう

「めぐる、手漉紙。」は、
製品の陰に隠れて日々生まれる廃材を
自分たちで使う紙にアップサイクルするお手伝いをしています。

製品にこめられた思いや物語を、
廃材をとおしてそのまま紙に漉き込みますので、
その紙はオリジナルの物語が込められた
企業姿勢や理念が伝わる唯一無二の紙となります。

名刺、タグ、ポストカード、パンフレット、コースターなど
ご希望に応じて作成することができます（要試作）

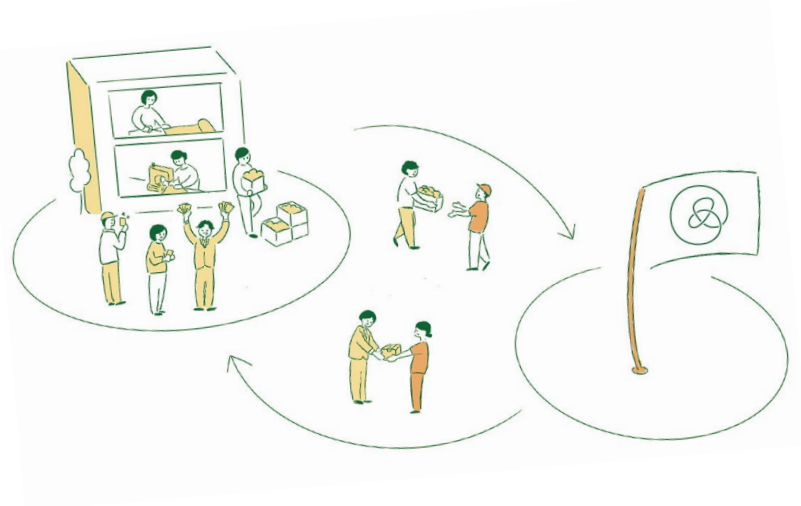
「めぐる、手漉紙。」は、
「自分たちで使う」を大切にしています。

それはアップサイクルしてくださる企業様にも
企業姿勢や理念が伝わる紙を使っていただき
効果を感じ喜んでいただきたいからです。
そして「自分たちの廃材を、自分たちで使う」という
小さいけれど主体的な循環から、
社会の新たな循環ははじまると考えているからです。

5つの特徴

1 自社の廃材を、自社で使う紙に

工場から出るデニムの廃棄品・木くずや麦や酒かす、オフィスから出る使用済みの用紙やチラシやカタログなど、自社からでた廃材を、物語のある手漉きの紙にアップサイクルし、名刺や会社案内などの目に見えるものに形を変えます。



2 2つとない手漉きならではの風合い

紙は障がい者施設で手漉きでつくります。
廃材の味を活かし心を込めた、手漉きならではの2つとない風合いです。

3 SDGsへの貢献

廃材のアップサイクルを障がい者施設と協働で行うプロジェクトです。
SDGsの [8:働きがいも 経済成長も] [10:人や国の不平等をなくそう] [12:つくる責任つかう責任] に貢献します。

4 取り組みを営業・広報PRに

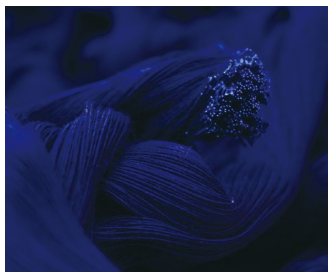
プロジェクトの取り組みを営業活動や広報PRで発信することでサステナブルやSDGsを推進でき、またブランディングや顧客関係強化にもつながります。

5 made in japanの紙

国内の障がい者施設で手漉きを行います。
廃材は日本国内の障がい者施設をめぐり紙にアップサイクルされ、アップサイクルされた紙はまた全国をめぐります。

紙をつくる導入事例

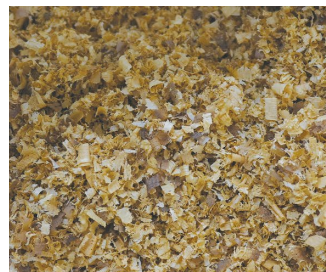
事例1 デニムの廃棄品をアップサイクル



世界から選ばれる「カイハラデニム」で生まれるデニムの廃棄品を紙にアップサイクルしました。
自社の名刺として採用いただき、活用されています。

紙をつくる導入事例2

事例2 家具の木くずをアップサイクル



木の温もりを大切にした上質な家具を作り続ける土井木工株式会社。
家具づくりと共に生まれる木くずを紙にアップサイクルしました。
自社の名刺として採用いただき活用されています。

はじめかた



お問い合わせ

下記QRの[お問い合わせフォーム]よりお問い合わせをお願いします。



試作

アップサイクルしたい廃材を、紙にすることが可能かどうかを試作します。試作費用として40,000円/一回(税別)が必要になります。

※試作の際、紙の活用イメージをお知らせください。



活用方法決定

紙へのアップサイクルが成功しましたら活用方法をお選びいただき、見積りに進みます。

活用方法は、名刺、タグ、ポストカード、パンフレット、コースター、カレンダーなどご希望に応じて作成することができます。

※ここでの印刷方式は活版印刷に限りません。オンデマンド印刷やオフセット印刷に対応した紙に仕上げることも可能ですのでコストを抑えたい方、大量につくりたい方はご相談ください。



ご注文

見積り確認後、ご注文ください。

※デザインからご注文の場合は、あらかじめご要望のヒアリングから行います。

※自社の廃材を紙にアップサイクルできなかった場合でも、「めぐる、手漉紙。」をつかうことができます。(詳しくは9p以降をご覧ください)。



廃材の発送

廃材をお送りください。活用方法と発注数により廃材の量と送付先をお知らせいたします。



納品

商品が出来上がりましたら発送させていただきます。目的に応じて自信を持ってご使用ください。

※全て手漉きでアップサイクルしますので、リピートはお早めをお願いいたします。

こんな方におすすめです

SDGsに
貢献していることを
実感したい

自社の廃材を
アップサイクルし、
自社で活用したい

サステナブルや
SDGsにこれから
取り組みたい

サステナブルや
SDGsを
さらに推進したい

背景やストーリーの
あるものを選びたい

手作り感の
あるものが好き

料金サンプル

名刺 活版印刷の場合

ご予算：240,000円（税別）+別途送料

試作費用 ※初回のみ		40,000円
名刺デザイン費（片面） ※初回のみ		15,000円
印刷費（活版印刷片面黒1色・1名100枚）	9,500円×10人分	95,000円
紙代（耳付き）	@60×1000枚	60,000円
全体調整・ディレクション・諸経費		30,000円
送料 別途		

合計 240,000円

名刺 オンデマンド印刷の場合


ご予算：155,000円（税別）+別途送料

試作費用 ※初回のみ		40,000円
名刺デザイン費（片面） ※初回のみ		15,000円
印刷費（オンデマンド印刷片面カラー・1名100枚）	3,000円×10人分	30,000円
紙代（耳なし）	@40×1000枚	40,000円
全体調整・ディレクション・諸経費		30,000円
送料 別途		

合計 155,000円

※名刺の最小ロットは1,000枚が目安です。その他は見積りの際にご案内いたします。



A person with short dark hair and glasses is focused on their work, leaning over a traditional paper-making machine. The machine consists of a wooden frame with a grid of slats, through which paper pulp is being processed. The person's hands are visible, carefully guiding the paper. The background is slightly blurred, showing more of the workshop environment.

作り手のこと

「めぐる、手漉紙。」はすべて、
障がいのある方の手漉きで生まれます。
一枚一枚、丁寧に丁寧に、ゆっくりと漉き込み、
紙へと生まれ変わります。
出来上がりの不規則さも
個性として大切にすることが「めぐる、手漉紙。」です。

障がい者の工賃格差は社会課題です

ご存じでしょうか？

いま日本には約1160万人ほど障がいのある方がおられます。

そのうち約6%の方は一般企業に就職し、その他の多くの方々は小規模作業所や就労継続支援施設など、いわゆる“作業所”と呼ばれる場所で働かれています。

そこは、1964年の東京パラリンピックを契機とした障がい者運動の流れをくんで日本各地に生まれた、障がいのある方の「働きたい」という願いを実現するための働く場です。障がいのある方はそれまで、働く機会や場所もなく無権利の状態に置かれていたため、障がいのある方の働く場が生まれたことは、それだけでも素晴らしい成果とされました。そのため数十年経過した今でも「労働の喜びを感じさせてもらえるだけでも有難い」と考えている家族や関係者は多いそうです。

ところが、それゆえに、1ヶ月毎日懸命に働いても、受け取るのは月1-2万円という低賃金が常態化しており、それどころか家族は施設に利用料や食事代、送迎代などを月1-2万円支払っていることも多く、現実的にはお金を払って働かせてもらっているという現実が、日本全国で当たり前のように見受けられています。

同じ時間、同じように働いても、健常者の給料に手が届くことはなく、やがて親なき後への不安にも繋がっています。

[就労継続支援B型作業所の平均工賃は月額17,031円(2022年)そしてA型作業所の平均賃金は月額83,551円(2022年)]

もうちょっと、給料、もらえないかな？

グループホームから作業所へと通う人はこう言われます。

「今は作業所の工賃と、障がい者年金を合わせて月8万円ほどで生活しています。でもグループホームの家賃・食費・お弁当代を払ったら消えてしまうんです。支給前になると缶コーヒー1本買うお金も残りません。もしも、工賃が4-5万円あれば月10万円を超えます。10万円あれば、もっと将来のこととか考えられるのに。」

5万円の給料を実現した施設の方は「働くみんなの生活が、変わってきたんです」と言われます。「少しずつおしゃれに目覚め、身だしなみや清潔感にも気をつけるようになる。ファッションが整えば、そこから今度は外に出かけるなど、様々な行動につながり、生活圏や人生観さえも変化していった。給料5万円が一つの節目となり、次に8万円を超え出すと、一般就労へのチャレンジ、結婚、一人暮らしなど、将来への夢や人生の展望を口々に語り出した。そして大台10万円を超えると、働く態度が大きく変わった。[お金を貰っている]という責任が芽生え、自分はお客さまのために働くのだという気持ちが芽生え出したのだ」「今思えば、自分の意志で使えるお金を確保することが、彼らには必要だったんだと感じます」と。

2万円で仕事ぶりが変わる。

5万円で生活が変わる。

8万円で未来が変わる。

10万円で働き方が変わる。

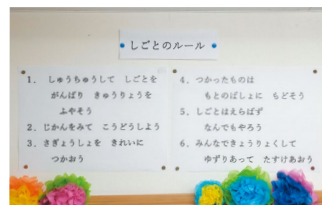


なぜ障がいのある方に、「めぐる、手漉紙。」をつかっていただくのか？

私たちには「めぐる、手漉紙。」を通じて叶えたい夢があります。それは、障がいのある方の賃金格差という社会課題を解決することです。具体的には、「めぐる、手漉紙。」を漉いていただくことで、障がいのある方の工賃を引き上げることができたらと思っています。

そのために私たちは、同じ思いをもつ全国の作業所さんと協力しながら取り組み、共創していきます

「めぐる、手漉紙。」は、この社会課題と向き合い、よりよい社会の実現につなげるために、今後も積極的に広げていきたいと思っています。



参考文献：『障がい者だからって、稼がないと思うなよ』姫路まさのり（新潮社）
『障害者とともに働く』藤井克徳 星川安之（岩波ジュニア新書）



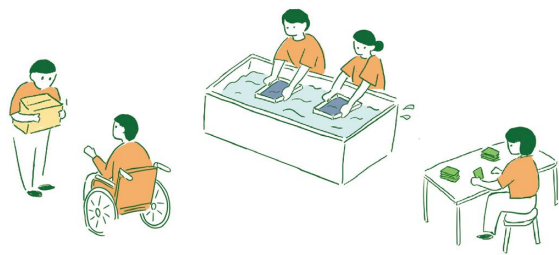
私たちの思い

社会をよくすることを届けたい

わたしたちコトブキ印刷は広島県府中市で印刷会社をスタートし、これまで多くのデザインと印刷の仕事をしてきました。おかげさまで40年が経ち、多くのお客様に声をかけていただきお仕事をさせていただけるようになりました。わたしたちは印刷やデザインを通してお客様の困りごとや課題を解決するお手伝いをさせていただけることに喜びと誇りを持っています。さらにこれからは、生まれた時よりもきれいな地球をのこせるように、地域や社会がかかえる課題に対して何かできないか、また商品を買っていただくという消費行動を通して、社会をよくしていけるサービスや商品の選択肢を、これまで培ったデザインや印刷技術を活かして提供できないか、という気持ちが芽生えてきました。

たどり着いたのは、
捨てられる廃材に命を吹き込み、
障がいのある方の手で『めぐる、手漉紙。』として
生まれ変わらせることでした。

使ってくださる方とともに社会をよくすることを届けるために、何をすればいいか。
考えに考えてたどり着いたのは、捨てられる廃材に命を吹き込み「めぐる、手漉紙。」
として生まれ変わらせることでした。廃材に命を吹き込む作り手として、工賃格差
という社会課題に苦しむ障がいのある方に、手漉きで紙を作っていただけないかと
お願いしました。



捨てられる廃材に命を吹き込むヒントは、
地元企業にありました。

わたしたちが暮らすこの地域は、家具や味噌、繊維やデニムの産地として栄えました。いまでも多くの企業が営みを続け伝統産業を支えています。そしてその工場からは日々製品が作られ、その陰で捨てられ行く廃材が誕生しています。私たちは地元の企業から出るこれらの廃材に注目し、気付かされました。それは、廃材にはそれぞれの背景があり、それぞれの物語があるということ。

そしてその物語は、新たな物語を生み出す魅力を秘めているということ。それからわたしたちは「廃材は、物語の種。」という言葉を胸に、企業と協力し試作を重ね、さらに障がい者作業所の力を借りて、紙へと生まれ変わらせることができました。

今後この取り組みは『めぐる、手漉紙。』として全国に広がります。



一枚一枚、丁寧に丁寧に。

有限会社コトブキ印刷

広島県府中市高木町840-2

TEL0847-46-4568 FAX0847-46-4570

www.co-tobuki.co.jp

<https://meguru-tesukigami.com/>